

■ 一般・消化器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）-内視鏡的大腸ポリプ・粘膜切除術	90	2.01	2.57	0.00%	70.49	
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上）-ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	27	6.44	4.54	0.00%	75.85	
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞-手術なし-処置 1:なし-処置2:なし-副病:なし	18	13.83	9.08	0.00%	82.22	
060035xx0100xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍-結腸切 除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術 等-処置1:なし-処置2:なし	12	23.08	14.81	0.00%	76.00	
060335xx0200xx	胆嚢炎等-腹腔鏡下胆嚢摘出術等-処置1: なし-処置2:なし	-	-	7.05	-	-	

一般・消化器外科では、小腸大腸の良性疾患（ポリプを含む）が最も多く、内視鏡下にて大腸にできた良性疾患を切除する目的で入院されます。他にもヘルニアや胆嚢炎、胃や結腸の悪性腫瘍での患者さんも多くいます。鼠経ヘルニアや結腸切除、胆嚢炎の手術などはお腹に数箇所5～12mmの小さな穴をあけて行う腹腔鏡下手術により行うことで患者さんへの負担を減らしながら治療を行います。また、従来のお腹を切る開腹手術に比べ、傷口が小さく痛みが少ないことが特徴です。

※-（ハイフン）は患者数が10未満。（本統計の集計条件に基づく）